

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
秩父鉄道行田市駅周辺地区

令和4年2月

埼玉県行田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	まちづくり活動への参加者希望率	%	48	70	45	確定 ● 見込み	×	あり なし ●		R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域まちづくり活動支援事業として「まちにぎわいフェスタ」を開催するとともに、各種の事業を実施しているが、住民のまちづくり活動参加意向への影響は少なかつた。
指標2	街なみ満足度	%	32	45	42	確定 ● 見込み	△	あり なし ●		R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標の達成には至らなかったが、「都市計画道路常盤通佐間線沿道文化ゾーン整備事業」や市道の「歴史的街路整備事業」等が、街なみの改善に一定の効果あげている。
指標3	中心市街地の人口減少率	%	-5.6	-2.8	-6.7	確定 ● 見込み	×	あり なし ●	-4.6	R4年2月	△	人口減少傾向が事業で期待される効果を上回ったため。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	前回の評価値から減少したが、今後の住環境のPRや、空き家・空き店舗等の活用により人口増加が期待される。
指標4	地区内観光入込客数	人/年	350,000	450,000	295,000	確定 ● 見込み	×	あり なし ●		R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	観光客増加に大きく貢献した映画やテレビドラマによる誘客効果が徐々に薄れ、中止となったイベントや、新型コロナウイルスによる影響により目標達成に至らなかった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地域活動の所属割合(自治会、NPO団体、ボランティア団体等)	%	46	/	51	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民主体のまちづくり推進の成果として、実際に地域活動(自治会、NPO団体、ボランティア団体等)に参加している市民の割合は増加している。
その他の数値指標2	住民基本台帳による中心市街地の人口減少率	%	-5.1	/	-4.6	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住民基本台帳による最新のデータによれば、中心市街地の人口減少傾向は抑制されつつある。
その他の数値指標3	中心市街地の主なまつり(浮き城まつり、忍城時代まつり、酉の市)	人/年	114,000	/	119,000	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史的資源が持つ魅力を活かした個性あるまちづくりに関して、一定の成果が表れている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	歴史的・文化的資源と調和した街なみの維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち並み景観形成モデル事業として、行田市行田市内(八幡通り)のまち並み基本構想の策定、イメージパース作成等を実施した。</li> <li>埼玉県のみまち並み景観形成先導モデル事業補助金及び本市ふるさとづくり事業補助金を活用し、店舗や事業所の修景整備を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神社を中心としたにぎわいが通り全体や地域に広がり、各店舗の集客増加や来訪者における市の認知向上が図られている。</li> <li>民間を主体とする景観団体や景観条例等の制度上のルール作り</li> <li>にぎわい向上に伴う車両通行時の歩行者の安全確保</li> </ul>
	行田市バスターミナルにおける観光案内機能の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内所におけるフリーWifiや観光レンタサイクルの導入</li> <li>公共交通等による行田市バスターミナルへのアクセス性の向上</li> <li>SNSを活用した観光案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備された行田市バスターミナル観光案内所の適正な管理やアクセス性の向上により、観光案内機能の維持と向上が図られている。</li> <li>観光案内所周辺の美化活動</li> <li>さらなるアクセス性向上に向けた計画策定</li> </ul>
<p>改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	市民主体のまちづくり活動の継続・拡大と市民意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>「花手水」や「蔵めぐりまち歩き」等、地域のまちづくり活動の情報発信</li> <li>フィルムコミッションとの連携による市民のまちづくり活動参加へのきっかけづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のまちづくり活動に関する情報発信とともに、行政や関係団体等との連携により、市民主体のまちづくり活動の継続・拡大と市民意識の啓発が図られている。</li> <li>まちづくりに関するセミナー開催、リーダー育成、まちづくり専門家派遣等による地域住民や団体等への支援</li> </ul>
	中心市街地の回遊性や魅力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>「花手水」、「蔵めぐりまち歩き」、「テアトルヴェール」、「はちまんマルシェ」等のイベントや日本遺産に関する情報発信</li> <li>空き家、空き店舗の利活用によるにぎわい創出、休憩スペース等の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベント等の情報発信とともに、歩行動線に併せたにぎわいの創出や休憩スペース等の充実により、回遊性と魅力の向上が図られている。</li> <li>まちの案内人、観光ガイド等の充実</li> </ul>
	中心市街地における人口減少の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎょうだ動画ちゃんねる」等を活用した行田市の住環境のPR</li> <li>空き家、空き店舗等のリフォーム、リノベーション等による住居や就業の場の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家などの既存ストックの利活用や、多様な住まい方の提供により、中心市街地における一定の定住人口の確保が図られている。</li> <li>空き地の利活用促進</li> </ul>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(清算報告)

ちちぶてつどうぎょうだしえきまえしゅうへんちく  
秩父鉄道行田市駅前周辺地区

さいたま ぎょうだし  
埼玉県 行田市

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	ぎょうだし 行田市	地区名	あちぶてつどうぎょうだしえきしゅうへんちく 秩父鉄道行田市駅周辺地区	面積	110 ha
計画期間	平成	27	年度	～	令和	元	年度
交付期間	平成	27	年度	～	令和	元	年度

### 目標

- 大目標：行田らしさを活かした街なみ景観と賑わいの創出による中心市街地の活力増進  
 小目標①：忍城址や足袋蔵などの歴史的資源が持つ魅力を活かした個性あるまちづくりの推進  
 小目標②：まちなかの活性化促進に向けた、人々を市街地へ誘導し回遊させる仕組みづくり  
 小目標③：都市機能の充実による市民が心豊かで快適に暮らせるまちづくりの推進

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

本市は、埼玉県北部に位置する人口約8万5千人の都市である。地域のほぼ全域が利根川と荒川の沖積平野となっており、忍川や星川をはじめとした河川が縦横に流れ、肥沃な土壌の穀倉地帯を形成しているとともに、武蔵水路や見沼代用水といった導水路の起点となるなど、首都圏の水供給における要衝として、また水と緑の豊かな田園都市として発展を遂げてきた。また、国指定史跡である「埼玉古墳群」や、埼玉県指定旧跡である「忍城址」、かつて生産量日本一となった足袋産産を象徴する建築物である足袋蔵などの歴史的遺産が数多く残され、近年では映画「のぼうの城」の公開により全国的な知名度が高まるなど、歴史・文化都市としてもその名を知られている。

市の中心部に位置する本地区は、中世・近世においては政治経済の中心として、現代においては中心市街地として位置付けられており、市役所や埼玉県行田地方庁舎をはじめとした公共・公益施設が立地する業務地区や、忍城址、足袋蔵、水城公園などの歴史と文化、水と緑の地域資源を内包する、市の顔と呼ぶにふさわしい地区である。

平成25年度からは、行田ならではの街なみ景観の創出を図るため、市民や市民団体等が主体となって行う足袋蔵等の歴史的建築物の改修事業などを支援する「ふるさとづくり事業」により、本市の持つ地域資源を有機的且つ有効的に整備・利活用するなど独自のまちづくりを進めた結果、実施箇所周辺においては徐々に整備効果が表れはじめ、行き交う人の数が増加するなど、一定の成果を挙げている。また、個性的で豊かなまちづくりの実現に向け、まちづくりの主体者の顔が見える「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」を策定し、行田らしい魅力ある街なみの形成や、賑わいなど活力の創出に向けた取組みの第一歩をスタートしたところである。

#### 課題

- ・まちづくり活動に対する市民意識の低さと活動団体間の連携不足
- ・空き店舗や空き地の増加に伴う商店街の活力・魅力の低下
- ・忍城址や足袋蔵など豊富に存在する歴史・文化的資源の点在による一体感の不足
- ・若年層の人口流出や流入人口の低減による定住人口の減少
- ・発着拠点における観光案内機能の不足

#### 将来ビジョン(中長期)

【第5次行田市総合振興計画】(平成23年3月)

中心市街地に相応しい活気と魅力ある街なみを創出するため、行田らしい景観を活かした都市基盤整備を進めるとともに、市民、企業、NPOなどと連携したまちづくりに取り組む。また、市内に残る多くの地域資源を保全するための保全意識の向上を図る。

【行田市都市計画マスタープラン】(平成25年3月)

必要な都市機能を中心市街地などの都市拠点に集約し、だれもが歩いて暮らせる、安全で暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、農村集落地での生活利便性を向上し、これらを結ぶ道路・公共交通ネットワークなどの更なる充実により、各地域が連携した都市づくりを目指す。また、歴史的な街なみ景観、平坦な地形を活かした美しい水辺環境や自然景観の形成により、歴史や自然の薫りが漂うまちづくりを進める。なお、当該地区は都市機能を集約する都市拠点として位置付けられている。

【行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画】(平成26年3月)

地域のまちづくり意識の醸成を図り、市民が主体となったまちづくりを進め、住みやすく、過ごしやすい地域へと発展させるなど、市民との連携・協働を強化した効果的なまちづくりに取り組む。また、「暮らし」と「交流」をつなげることで、市民と来訪者の双方が満足できる賑わいの創出を図る。

【行田市景観形成基本計画】(平成11年3月)

行田らしい住み良さの基調となっている、のびやかでやすらぎ感のある風景、便利さや活力・賑わいといった都市的な風景、誇れる歴史の風景が全体として調和(バランス)した、住み人にとっても訪れる人にとっても『やすらぐ都市風景』をつくる。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
まちづくり活動への参加希望率	%	住み良いまちをつくるための地域活動に参加したいと考えている市民の割合	官民連携により、市民が主体となり地域を育てるまちづくりを推進し、もてなしの心の醸成と豊かな暮らしの実現を図る	48.1	70.0	H21	R2
街なみ満足度	%	歴史や文化との調和を感じている市民の割合	まちの魅力を高め、にぎわいの創出につなげるため、個性あふれる街なみづくりを推進する	32.0	45.0	H21	R2
中心市街地の人口減少率	%	行田地区及び忍地区の人口減少率	集約連携型の都市構造の実現を図るため、まちなか居住人口の減少に歯止め、もしくは維持を図る	-5.6	-2.8	H22	R2
地区内観光客入込数	人	地区内施設及びイベントにおける観光客入込数	観光案内機能を強化することにより、人々を市街地へ誘導・回遊させ、交流人口を増加させる	350,000	450,000	H25	R2

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 市民が主体となり地域を育てるまちづくりを推進し、まちづくり活動への参加者を増加させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市特有の歴史的・文化的資源を活用し、質の高い街なみ景観の創出を図り、個性的なまちづくりを展開する。</li> <li>・行政主導のまちづくりから市民主体のまちづくりへの転換を図り、まちづくりに対する市民意識の醸成とまちづくり組織の立上げを促進する。</li> <li>・緑化活動や清掃活動など、市民参加を促進する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設：市道第5.3-298号線外9路線 歴史的街路整備事業</p> <p>【提案事業】 まちづくり活動推進事業：地域まちづくり活動支援事業</p>
<p>整備方針2 歴史と文化の薫りが漂う歩きたくなる街なみを創出し、快適性、回遊性、利用者の満足度の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・忍城址周辺の回遊性の向上に向け、「浮き城のまち」にふさわしい街なみを創出する。</li> <li>・観光案内機能の充実により、回遊利便性の向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設：都市計画道路常盤通佐間線沿道文化ゾーン整備事業</p> <p>高次都市施設：行田市バスターミナル観光案内所整備事業</p>
<p>整備方針3 暮らしと交流が調和したまちづくりを推進し、中心市街地の人口減少に歯止めをかけ、定住人口の維持を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が暮らしやすいような都市機能の充実、訪れる人の興味・関心を引く仕掛けづくり、点在する地域資源を回遊させる仕組みづくりを行い、中心市街地の空洞化に歯止めをかける。</li> <li>・歩く楽しさや休憩スポットといった幅広い世代に受け入れられる事業を展開し、住みやすく、訪れやすい環境を創出する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 地域生活基盤施設：街なかサイン整備事業</p>
<p>その他</p>	

